



FIGS
2025
年本インパクト
トレポート

ELISABETH P., MD | LAUREN C., ACSW, MSW | SONYA B., MD | NICOLE K., BSN, RN

医療従事者の皆さまは、昼夜を問わず、日々絶え間なく、患者様や地域社会のために尽力されています。

FIGSでは、そうした皆さまを支えることが私たちの使命です。医療を支えているすべての人々を支援し、称え、寄り添うことで、皆さまが認められ、大切にされ、次に何が起こっても前に進める状態でいられるようにします。

本「2025年インパクトレポート」は、私たちのコミットメントを具体的に示すものです。これは、共に実現してきた変化を振り返ると同時に、これからも常に皆さまを支え続けるという約束でもあります。

これらの価値観は、私たちが日々どのよう に行動するかを導いています。



インパクトを生み出す

製品、キャンペーン、アドボカシー活動に至るまで、私たちのあらゆる取り組みは、皆さまのような素晴らしい人々のために、意義ある変化を生み出すことを目的としています。



簡単なことなら、誰にでもできる

私たちは限界に挑み、課題に真正面から取り組み、地域社会の前進に貢献することにコミットしています。



行動を優先する

私たちは迅速かつ的確に行動し、皆さまを支援し力づけます。最も重要なタイミングで、必要とされる形で応えます。



誰よりも深く思いやる

比類のない共感と責任感をもって、皆さまが認められ、支えられ、大切にされていると感じられるよう尽力します。



Ubuntu—「あなたがいるからこそ、私がある」

私たちはコミュニティの力を信じています。私たちの強さは、支え合いとつながりの中にあると考えています。



自分が生きたい世界を創る

医療従事者のウェルビーイングと成長を最優先とする未来を形づくる責任を、私たちは担っています。



物事のやり方は、すべてに共通する

どんなことにも最高水準で取り組み、私たちが創り出すすべてのもの、そしてコミュニティのためのすべての活動において卓越性を追求します。

創業者たちからのメッセージ

素晴らしい人々であるコミュニティの皆さまへ

本年は、FIGSが存在する理由を改めて示す一年となりました。それは、皆さまのような医療従事者を、日々変わることなく支えることです。皆さまの勇気、誠実さ、そして献身は、私たちに、より強く提言し、より良いものを築き、仕事の場面にとどまらず、その先においてもどのように支援を広げていくかを追求させました。

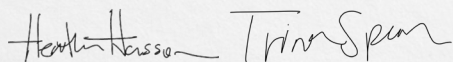
私たちのインパクトに関する取り組みは、創業当初よりFIGSの中核であり続けており、2025年には大きな前進を遂げました。重要な節目として、2025年後半に「オーサム・ヒューマンズ・ファウンデーション」を設立し、さらに大きく、より良い形で皆さまを支援できる体制を整えました。本財団は、皆さまのような素晴らしい人々に直接的な支援を提供する、初の非営利団体です。危機的状況にある場合、学費支援を必要とする学生である場合、または医療従事者のためにさらなる取り組みを行うための資金支援を必要とする団体である場合でも、本財団は皆さまを支えます。そしてすでに成果を上げており、ここ数か月だけでも、支援を必要とする医療従事者に対して数万ドル規模の直接支援を提供しています。

私たちの財団を通じて、そしてあらゆる活動において、「還元すること」は引き続き私たちの使命の中核であり続けています。「誰もが #wearFIGS を身につけるべきである」というシンプルな信念から始まった取り組みは、今やグローバルな活動へと発展し、その中心にいる人々を支えることで医療システムの強化に貢献しています。スレッズ・フォー・スレッズを通じて、2025年には52か国にわたり340,000点のFIGS製品を寄付し、医療従事者およびその地域社会を支援する非営利パートナーに対して700,000ドルを拠出しました。私たちの支援は幅広い分野に及び、ロサンゼルスのような災害に直面している人々への支援から、メンタルヘルスの促進に焦点を当てたさまざまな取り組み、さらにはElisabeth Potter, MDのように、患者と医療従事者の双方のために日々尽力している卓越した医療従事者への支援まで、多岐にわたっています。

寄付活動の拡大に加え、2025年にはアドボカシー活動も新たな高みに到達しました。年間を通じたアドボカシー活動の一環として、6月には18名の医療従事者をワシントンに招き、議会に対してそれぞれのストーリーを共有していただきました。『The Pitt』の出演者であるNoah Wyle氏と、その母であり引退した整形外科看護師のMarty Speer氏も参加し、これらの素晴らしい人々は議員との面会や、FIGS主催の議会ブリーフィングでの発言を行いました。彼らの声は、公正な報酬、メンタルヘルス支援、そして事務負担の軽減に関する取り組みを前進させ、私たちのコミュニティに具体的な成果をもたらしました。そして同時に、医療従事者が意思決定の場において真に発言権を持つことの重要性を示しました。

私たちのすべての活動は、皆さまによって導かれています。皆さまが提供するケア、背負っているプレッシャー、そして実現している変化に支えられています。私たちを皆さまの世界の一部として受け入れてくださり、そして共により良い未来を築くためのインスピレーションを与えてくださっていることに、心より感謝いたします。

YO



Heather Hasson & Trina Spear
FIGS 共同創業者

私たちのインパクト・ピラー

本インパクトレポートは、目的、人、製品の3つのピラーに基づいて構成されています。これらは一体となって、私たちがどのように医療従事者を支えているかを示しています。すなわち、行動を起こし、皆さまの声を広げ、実質的かつ持続的な変化を生み出すソリューションを構築することです。

目的

人々

製品

目的

私たちの目的はシンプルです。皆さまを支えることです。これは、皆さまのウェルビーイング、安全、そして患者様と向き合う時間を守るために提言していくことを意味します。私たちは、皆さまが日々直面している課題に耳を傾け、それを行動へとつなげています。政策の変革からグローバルな寄付、そしてオーサム・ヒューマンズ・ファウンデーションを通じた直接的な支援に至るまで、その取り組みは多岐にわたります。私たちの目標は、皆さまが仕事のあらゆる場面において守られ、支えられ、大切にされていると感じられる未来を実現することです。そして、その実現まで歩みを止めることはありません。



数字で見る実績

寄付額：

700,000ドル

📍 寄付されたFIGS製品数：

340,000点

パートナー一覧

アミチ・カニス

バック・トゥ・ヒーリング

ビヨンド・ナーシング・エクスペリエンス

ブルーバード医療教育・アクセスセンター

ボトムレス・クローゼット

ブライト・アイランド・アウトリーチ

ブラザーズ・ブラザー財団

ケアウェイズ・コラボラティブ

シーダーズ・サイナイ

シティ・ワイルドライフ

DNPsオブ・カラー

ローナ・グリーン医師ヒーローズ財団

エレバートメッド

アイ・コープス

エフ・キャンサー

フィリピン系カナダ人歯科衛生士協会

グローバル・エンパワーメント・ミッション

グッド360

ホールディング・スペース財団

HOSSイニシアチブ

ヒューマン・ディベロップメント・ファンド

マリアン大学

海洋哺乳類ケアセンター

マウイ・ヘルス財団

メディカル・ブリッジズ

メッドウィッシュ

メモリアル・スローン・ケタリングがんセンター

メンディング・キッズ・インターナショナル

マーシー・セッド・ノー

エヌス・ディメンションズ

オペレーション・スマイル

オペレーション・ウォーク

オレゴン健康科学大学財団

アウトケア・ヘルス

ポーズ・フォー・ライフK9レスキュー

プロジェクトC.U.R.E.

プロジェクトHOPE

ラゾム・ウクライナ

リサージ・インターナショナル

ローズ・イニシアチブズ

ロイヤル・フライング・ドクター・サービス

セービング・マザーズ

ザ・ショップ・ドックス

SOSインターナショナル

スパークリーチ・イノベティブ・リーダーシップ

スチューデント・ナショナル・メディカル・アソシエーション

チーム・ヒル・オペレーション・ウォーム・ハート

チーム・ホープ・イン・モーション

ティバ財団

カリフォルニア大学サンフランシスコ校

シカゴ大学

ミズーリ大学カンザスシティ校

アンスポークン・スマイルズ

ワシントン州立大学エルソン・S・フロイド医科大学

ワイルド・ウェスト・ベットのレスキュー・アンド・トランスポート

ワールドワイド・ベッツ・インコーポレイテッド

VLADIMIR K., MD

threads for threads™

スレッズ・フォー・スレッズは、「高品質なスクラブへのアクセスが、ケアを提供する上での障壁であってはならない」というシンプルな信念から始まりました。2025年には、世界中の非営利パートナーを通じて、医療従事者に340,000点のFIGS製品を寄付しました（ラゾム・フォー・ウクライナを含む、上記写真）。私たちが支援しているチームからは、「FIGSにアクセスできることで、医療従事者は自信を持ち、一体感を感じ、その日一日に備えることができる」という声が、繰り返し寄せられています。スレッズ・フォー・スレッズは、必要としている人々にFIGSを直接届けることで、ケアの中心にいる人々を支えています。なぜなら、誰もが #WEARFIGS を身につけるに値するからです。



「FIGSが届いた日のチームの喜びは、これまで見た中で一番だったと思います。素晴らしいICUチームへの多大なご寄付に、心より感謝いたします!」

オレゴン健康科学大学



「スタッフにFIGSを支給したことで、チームの士気に大きな影響がありました。私たちの仕事は過酷ですが、快適でプロフェッショナルなスクラブがあることで、チームはより自信を持ち、一体感を感じ、自分たちの価値を実感できるようになりました。」

シティ・ワイルドライフ



「FIGSは、私たちの外科チームにとって非常に大きな士気向上につながりました。クリニックや手術室で必要とされていた衣類を提供していただき、チームに活力を与えてくれました!」

カリフォルニア大学サンフランシスコ校 ウガンダ医療ミッション



「これが私にとって初めてのFIGSのスクラブで、本当に嬉しかったです!このような思いやりと寛大な贈り物をありがとうございます!」

ミズーリ大学カンザスシティ校 歯学部 STAHRスカラーズ

ロサンゼルス山火事支援

2025年1月、山火事が私たちの故郷であるロサンゼルスを襲ったとき、私たちはその影響を深く受けました。ロサンゼルスに拠点を置く企業として、これは非常に個人的な出来事でした。私たちのチーム、近隣の人々、そして地域社会そのものに関わる出来事でした。

地域の医療従事者は、自らも被害を受けながら、避難を余儀なくされた家族のケアの最前線に立っていました。私たちは直ちに行動を起こし、必需品、PPE、食事、そして重要な支援物資を提供することで、迅速な支援を行いました。また、支援を必要とするすべての人のためにHEREFORLAの専用窓口を開設し、限定版の「LA Supersoft Longsleeve Underscrub™」を展開しました。その売上から40,000ドルをProject HOPEに寄付し、家族、クリニック、医療センターの復旧支援に充てました。

地域社会を支えるということは、その地域を支えている人々を支えることから始まると、私たちは考えています。

数字で見る実績

8,600点

素晴らしい人々に提供されたFIGS製品

40,000ドル

医療従事者および地域団体への寄付額

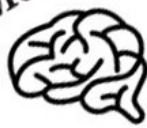
2,500食以上

8以上の病院に提供された食事

4,400枚

ロサンゼルス病院に提供されたN95マスク

Mental

health *is* healthcare of my
MentalHealth Workforce Well-Being Day  2025 Be kind to your  and taking
care of my
Mental
 health *is* health Be kind to your

メンタル ヘルス

皆さまが背負っている精神的な負担は現実のものであり、勤務が終わった後も消えることはありません。そして多くの場合、それを一人で抱えることが求められています。皆さまのウェルビーイングは、提供しているケアと同じくらい重要であり、適切な支援が必要です。私たちの約束はシンプルです。私たちは耳を傾け、行動し、皆さまが自分自身をケアするための時間、リソース、そして守られる環境を確保できるよう支援します。なぜなら、それは皆さまがケアしている人々と同じくらい、当然に受けるべきものだからです。

ローナ・ブリーン・ヒーローズ財団

私たちは100,000ドルを寄付し、ローナ・ブリーン・ヒーローズ財団と連携して、医療従事者が必要とするメンタルヘルスケアの利用を妨げているスティグマの解消に取り組みました。ローナ・ブリーン医療従事者保護法の再承認に向けた長年のアドボカシー活動の結果、これらの取り組みは2026年に実を結びました。議会による再承認により、全米の医療従事者を対象とした重要な連邦レベルのメンタルヘルスおよびウェルビーイング支援プログラムは、2030年まで延長されることとなりました。

これは大きな節目ではありますが、最終目標ではありません。私たちは今後も、十分な資金確保、政策改革、そしてメンタルヘルスケアが重視され、守られ、不可欠なものとして認識される文化の実現に向けて、取り組みを継続していきます。

エモーショナルPPEプロジェクト

医療従事者のためのメンタルヘルスケアは、真の理解と誠実な思いやりに基づくものであるべきです。私たちは非営利団体であるエモーショナルPPEプロジェクトと提携し、2024年に35,000ドルを寄付して「ePPE 101」の実現を支援しました。2025年に開始されたこのコースは、メンタルヘルス専門家が皆さまの抱える精神的負担を理解し、実際の業務に即した、実用的で有効な支援を提供できるようにすることを目的としています。

トークスペース

メンタルヘルスの支援には、提言だけでなく「アクセス」が不可欠です。トークスペースとの提携を通じて、FIGSアンバサダーは、ライブビデオや安全なメッセージ機能を利用し、自分の都合に合わせて認定セラピストとつながることができます。

これまでに313名のアンバサダーが登録し、1,073回のライブセッションと682回のメッセージセッションを完了しました。セッション後の調査では、58%が臨床的な改善を実感したと報告しています。

本プログラムは、アンバサダーネットワーク全体を対象としたコミュニティベースのモデルによって資金提供されており、障壁を取り除き、必要なときに確実にケアが受けられる体制を実現しています。

メモリアル・スローン・ケタリング ゼン・デン

私たちは、メモリアル・スローン・ケタリングのゼン・デン・プログラムに50,000ドルを寄付し、15の臨床拠点にわたって回復のための空間の整備を支援しました。これにより、看護師が忙しい業務の合間に立ち止まり、気持ちを整え、呼吸を整えることができる場が提供されています。これらの空間は単なる休憩以上の意味を持ち、どれほど忙しい状況においても、ケアを提供する人々へのケアが重要であることを示しています。

スパーク・リーチ 革新的リーダーシップ

私たちはスパーク・リーチと提携し、100,000ドルを寄付して、UCアーバインなどの医療機関において看護師向けのピアメンタリングおよびウェルビーイングプログラムの導入を支援しました。これにより、看護師が互いに支え合い、自分らしくいられ、リーダーとして成長できる環境を創出しています。このようなコミュニティの形成を通じて、スパーク・リーチは医療現場の日々の負担をより軽減し、持続可能で、より人間的なものへと変えることに貢献しています。

ハリケーン・メリッサ支援

ハリケーン・メリッサがカリブ海地域を襲った際、私たちは迅速に行動し、危機対応にあたる医療従事者を支援しました。避難を余儀なくされた家族のケアにあたる医療従事者のために、即時の支援と必要な物資を提供する目的で、Project HOPEに25,000ドルを寄付しました。また、グローバル・エンパワーメント・ミッションに20,000点のFIGS製品を提供し、最も大きな被害を受けた地域の医療従事者が重要なケアを提供するために必要な装備を確保できるよう支援しました。

FIGS 手術室およびICU

2021年以降、FIGSはティバ財団およびマティバブ病院と提携し、ケニア西部の農村地域における高品質な外科医療へのアクセス拡大に取り組んできました。この取り組みは、2024年にFIGS手術室およびICUの開設により、これまでで最も大きなインパクトをもたらすプロジェクトの一つとなりました。

2025年には、さらなる支援として50,000ドル相当の外科医療機器を提供し、安全性、効率性、および医療提供体制の強化に貢献しました。2025年だけでも、この手術室では700件以上の手術が実施され、完全に自立した運営体制を確立しました。これにより、多くの患者（その多くは1日1〜2ドルで生活している人々）に対して、無料または低コストでの医療提供が可能となりました。また、この体制強化により、乳がんの疑いから確定診断までの期間は、従来の6か月からわずか22日へと大幅に短縮されました。さらに本施設は現在、外科トレーニングおよび研修の拠点としても機能しており、地域における持続的な医療人材の育成にも寄与しています。

FIGSによる継続的な支援は、Boda Girls Kenya（ボダ・ガールズ・ケニア）の活動拡大にもつながり、対象地域は3つの郡へと広がりました。その結果、女性が安全に必要な医療を受けられるよう、15,000回以上の無償移動支援が提供されています。



DAN OGOLA, FOUNDER AND CEO, MATIBABU FOUNDATION | DIANE DODGE, EXECUTIVE DIRECTOR, TIBA FOUNDATION
HEATHER HASSON, CO-FOUNDER AND EXECUTIVE CHAIRMAN, FIGS | MEG WHITMAN, FORMER US AMBASSADOR TO KENYA | TRINA SPEAR, CO-FOUNDER AND CEO, FIGS

アドボカシー

皆さまのような医療従事者は、日々私たちすべてのために尽力しています。しかし現実には、その業務をより困難で負担の大きいものにしてしまう仕組みの中に置かれていることが少なくありません。そして、それは変えていかなければなりません。私たちのアプローチはシンプルです。医療従事者の声に耳を傾け、何が障壁となっているのかを理解し、より安全で、公正で、持続可能な働き方を実現するための実践的な解決策を推進していきます。

公正な報酬やメンタルヘルス支援から、煩雑な手続きの削減に至るまで、私たちは皆さまの声を、実際に変化を生み出すことができる人々へ直接届けます。そして、進展が実現するまで取り組みを継続します。FIGSにおけるアドボカシーは政治のためのものではなく、人のためのものです。それは、医療システムが真に皆さまを支えるものとなるよう築いていくことを意味します。

ヘルスケア・イズ・ヒューマン法

この1年にわたる素晴らしい人々の継続的なアドボカシー活動により、ヘルスケア・イズ・ヒューマン法が議会に提出されました。これは、長年にわたる報酬に関する課題に取り組み、医療を支えている人々の価値を適切に評価するための重要な一歩です。本法案はFIGSとともに策定され、クラウディア・テニー下院議員およびスティーブン・ホースフォード下院議員の主導のもと提出された超党派の取り組みです。医療サービスが特に不足している地域で働く医療従事者を対象に、連邦税額控除を創設する内容となっており、人材の定着を支援し、不可欠な業務を担う人々を正當に評価するための、実用的かつ長年待ち望まれていた施策です。

ヒルに集う素晴らしい人々



FIGSは、ヘルスケア・イズ・ヒューマン法をはじめとする法案について、年間を通じて連邦議会におけるアドボカシー活動を行い、医療従事者の声が政策を形づくる人々に確実に届くよう取り組んでいます。「ヒルに集う素晴らしい人々」は、その活動の集大成となる重要な機会であり、2025年6月にはこれまでで最も大きな影響力を持つ集まりを実施しました。18名の医療従事者が、『ザ・ピット』のプロデューサー兼主演であるノア・ワイリー氏と、その母であり約50年にわたり整形外科看護師として勤務したマーティ・スピア氏とともに、それぞれの経験を共有しました。

30回以上に及ぶ議会との面会や、100名を超える政策担当者、スタッフ、報道関係者が参加した議会スタッフ向けブリーフィングを通じて、これらの声は、公正な報酬、メンタルヘルス、そして事務負担の軽減に焦点を当てた3つの超党派法案に光を当てました。すなわち、ヘルスケア・イズ・ヒューマン法、ローナ・ブリン医療従事者保護法、そして高齢者の適時医療アクセス確保法です。この機会を通じて、私たちは医療従事者の現実の声を広く伝え、日々直面している課題を明らかにし、ふさわしい解決策を提言しました。全国的な舞台において、その重要性を訴えました。

NOAH WYLE | MOHAMED H., MD, MPH | TRINA SPEAR, CO-FOUNDER AND CEO, FIGS

TIME 100

HEALTH LEADERSHIP FORUM

TIME 100

TIME 100

T

FARIDA L., RN

TIME100 ヘルス・リー ダーシップ・ フォーラム

本年、FIGSはTIME100ヘルス・リーダーシップ・フォーラムにおいて、ひとつの明確な目標のもとに参加しました。それは、医療を支えている人々に焦点を当てた議論へと立ち返らせることです。FIGSの最高法務・インパクト責任者であるトッド・マロン、FIGSアンバサダーのファリダ・ラバラン、RN、そしてローナ・ブリーン・ヒーローズ財団のコーリー・フェイストが登壇し、医療従事者が抱える精神的負担と、それをさらに重くしてしまうことの多い仕組みについて率直に語りました。

医療分野のリーダーが集う場において、現場の実体験を共有することで、議論を本当に重要な点に引き戻しました。より良いケアは、ケアを提供する人々を大切にすることから始まります。そして、その支援が当たり前となるまで、私たちは引き続き取り組みを続けていきます。

乳がん啓発月間

乳がんに関するアドボカシーは、ピンクリボンに象徴される取り組みにとどまってしまうことが少なくありません。私たちはそれをさらに深め、日々この課題と向き合っている素晴らしい人々とともに取り組みました。

10月のキャンペーンは、この疾患の影響を最前線で目の当たりにしている外科医、看護師、腫瘍専門医を中心に構成されました。困難な対話、複雑な医療対応、そしてそもそもこのプロセスを容易でもアクセスしやすいものでもないものになっている仕組み——そうした現実

に焦点を当てました。

本キャンペーンの中心的存在の一人が、著名な再建外科医であり、医療への公平なアクセスの実現に向けて尽力しているエリザベス・ポッター医師です。彼女の視点は、実際の患者体験に根ざし、実践的で目的意識のある変化を求める医療従事者の力強い連携の核となっています。

真の変化はハッシュタグから生まれるものではありません。それは病院、クリニック、そして手術室の中で生まれます。そして私たちは、その変化を生み出している人々をこれからも支え続けます。

FIGSはこのメッセージを具体的なインパクトへとつなげ、以下の寄付を実施しました。

- **ブルーバード医療教育・アクセスセンターに100,000ドルを寄付(ポッター医師が設立した非営利団体)。**保険適用を受けられなかったがん患者に対する初の手術費用の支援に充てられました。
- **長年のパートナーであるF Cancerに50,000ドルを寄付し、患者への直接支援および教育プログラムを支援しました。**

実際の声を広く伝え、それを具体的な行動で支えることで、FIGSは乳がん啓発月間を単なる啓発活動にとどまらない、明確な意思表示へと昇華させました。

ELISABETH P., MD

国際女性デー

私たちは、サラ・キルパトリック医師（医学博士・博士号）およびシーダーズ・サイナイにおける女性健康科学研究センター（CREWHS）のチームとの長年にわたるパートナーシップを、さらに深化させました。CREWHSは、女性の健康および性差が医療に与える影響に関する革新的な研究を牽引する存在です。本年、FIGSは同チームの取り組みを支援するために100,000ドルを寄付し、ホルモン変化が自己免疫疾患に与える影響に関する重要な研究などを後押ししました。

このような研究は、単なる数値やデータにとどまるものではありません。長年にわたる医療の格差を是正し、世界中の女性にとってより良い医療成果の実現へと近づくための重要な取り組みです。

Sarah K. Kilpatrick, MD, PhD

SARAH K., MD, PHD

Awesome Humans Foundation

FIGSの使命は、創業当初から一貫して、世界中の医療従事者の生活を向上させることにあります。

オーサム・ヒューマンズ・ファウンデーションを通じて、FIGSは資金調達の規模を拡大しています。自らの拠出に加え、支援を望む人々からの寄付を受け入れることで、その取り組みを広げています。

オーサム・ヒューマンズ・ファウンデーションは、医療従事者が直面する多様な課題に包括的に取り組む初の非営利団体として、助成金や奨学金を提供し、皆さまの仕事、必要な教育、そして大切にしている活動を支援します。

「

医療従事者を支えることで、その方々が患者に対してより良いケアを提供できるようになります。それがより良い成果を生み、より良い医療システムにつながります。

(共同創業者兼CEO)

FASTCOMPANY

オーサム・ヒューマンズ・ファウンデーションに関するファストカンパニーによる報道の掲載記事はこちらをご覧ください。

初期のインパクト

2025年12月2日の財団設立から最初の1か月で、私たちは迅速に取り組みを開始し、経済的危機に直面している10名の医療従事者に対して、合計25,000ドルの緊急支援助成金を提供しました。主な支援対象者は以下の通りです。

- 重篤な血液疾患を抱える子どもをケアする登録看護師に対し、医療費および生活に必要な基本的支出を支援。
- 虐待的な関係から離れた看護学生でありシングルマザーに対し、2人の娘とともに生活基盤を安定させ、学業とフルタイム勤務の継続を支援。
- 命に関わる病気から回復中の登録看護師に対し、部分的な有給病気休暇中の収入不足を補填。
- がん治療を受けている登録看護師に対し、増大する医療費の負担を軽減し、治療に専念できる環境を支援。

突発的な経済的困難に直面している方、またはそのような状況にある方をご存じですか。[詳細の確認および助成金の申請はこちらからご覧ください。](#)

FIGS × グアテマラ

パートナー・ トリップ

アメリカ、カナダ、イギリス、オーストラリア、メキシコを代表する9名のFIGSアンバサダーが、グアテマラのサン・ルーカス・トリマンを訪れ、4日間にわたり347名の患者に対して、視力検査、理学療法、そして重要なプライマリケアを提供しました。患者教育および25,000ドルの寄付を通じて、Project C.U.R.E.や現地の団体と連携し、医療へのアクセス向上に貢献しました。

FIGSインパクト・トリップに加え、私たちはパートナーであるオービスおよびケアウェイズ・コラボラティブの取り組みを支援し、世界各地でケア提供に携わる素晴らしい人々にFIGSを提供しました。



「
FIGSは、私たちのチームに高品質なスクラブを提供し、バングラデシュ、ガーナ、ルワンダにおける最近の視力回復プロジェクトの成功に直接貢献しました。」

オービス



「
お揃いのFIGSを着用することで、『共に取り組んでいる』という強い一体感が生まれ、手術室やICUでの長時間の業務においてチームの士気向上につながりました。」

ケアウェイズ・コラボラティブ

NORINEL V., BSN, RN

人々

FIGSにおいて、人はすべての中心にあります。私たちのチームは日々、明確な目的意識を持ち、コミュニティとのつながりを大切にしながら、本当に意味のある形で皆さまのような医療従事者を支えるという目標に向かって行動しています。この共通のコミットメントこそが、私たちの製品、アドボカシー、そしてインパクトを支え、実質的かつ持続的な変化を可能にしています。



HITOMI U., DDS

Where *Do You* Wear + FIGS?

2025年、「Where Do You Wear FIGS?」はブランド全体を貫くテーマとなり、世界中の医療従事者の声を称え、広く発信するための取り組みとなりました。新たな国際市場への展開に伴い、このキャンペーンは、大陸、専門分野、そしてケアの現場を超えて広がるFIGSコミュニティの多様性と広がりを示すものとなりました。

ビルボードやコマーシャルなどを通じて、実際の医療従事者を中心に据えることで、皆さまの現実の生活や経験を反映しました。その反響は非常に大きく、これまでにないリーチとエンゲージメント、そしてコミュニティ全体における強い共感とつながりを生み出しました。

ノア・ワイリーのエミー賞 タキシード

テレビ界最大の一夜において、ノア・ワイリー氏はロサンゼルスで開催された第77回エミー賞の舞台に立ち、医療従事者への想いを胸に、自身のために特別に仕立てられたFIGSのカスタムタキシードを着用しました。『ザ・ピット』で日々着用しているスクラブと同じように快適なタキシードを作ってほしいという彼のユーモアあるリクエストを受け、私たちは着心地、スタイル、そして細部へのこだわりを兼ね備えた一着をデザインしました。

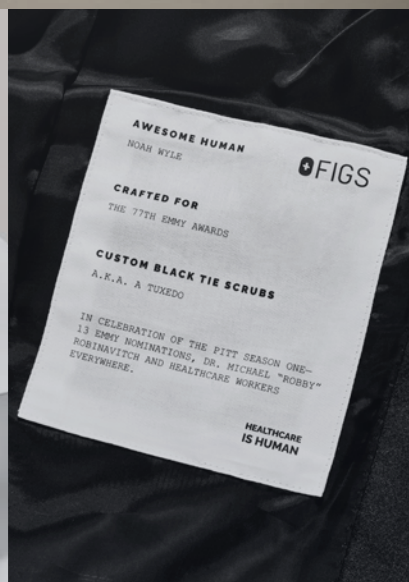
その夜は大きな成果を収めた一夜となりました。『ザ・ピット』は5部門でエミー賞を受賞し、ノア・ワイリー氏は主演男優賞を獲得しました。受賞スピーチでは、その場を通じて世界中の医療従事者への敬意が表されました。さらに後日、『ニューヨーク・タイムズ』が彼を「2025年最もスタイリッシュな人物」の一人に選出したことは、皆さま、そして医療コミュニティ全体が本来いるべき場所——すなわち注目の中心で認められ、称えられる場——にあることを改めて示す出来事となりました。

「
今夜勤務に向かう方、あるいは勤務を終えたばかりの方へ。この賞は皆さんのためのものです。」

- ノア・ワイリー



2025年 本インバクトレポート



コミュニティ・ハブ

2025年、私たちはコミュニティ・ハブを拡大し、FIGSを皆さまが働き、生活する場所により近づけました。ロサンゼルスおよびフィラデルフィアに続き、ニューヨークおよびヒューストンに新たな拠点を開設し（2026年初頭にはシカゴにも開設予定）、いずれも主要な医療機関の近くに設置されています。

これらのハブは単なるショッピングの場ではなく、つながりやインスピレーションを生み出す空間であり、心地よい体験を提供する場所です（もちろん、ショッピングも可能です）。そして、これはまだ始まりに過ぎません。2026年にはさらに多くのコミュニティ・ハブの展開を予定しています。

「
私たちのコミュニティ・ハブは、これまでにない形で素晴らしい人々がショッピングを楽しめるだけでなく、お互い、そしてFIGSとのより深いつながりを築く機会を創出します。」

— トリーナ・スピア（共同創業者兼CEO）

+ FIGS

FIGS COMMUNITY HUB
RICE VILLAGE | HOUSTON, TEXAS



COURTNEY S., MD

マッチデー

マッチデーは、医師としてのキャリアにおける最も重要な節目の一つであり、今年その機会を共に祝えたことを大変光栄に思います。私たちはハーワード大学医学部のマッチデーを主催し、ライブ配信も実施しました。パーソナライズされたFIGS、祝福の花束、そして家族、友人、指導者、同級生とともに分かち合う贈り物を通じて、その瞬間を祝いました。学生たちは自身の専門分野や配属先を発表し、クラスマップにそれぞれの歩みを記録し、新たなプロフェッショナル用の写真撮影を行い、今後のキャリアを通じて記憶に残る一日の思い出を残しました。

医療アドバイザリーボード

私たちの医療アドバイザリーボードは、医療分野のリーダーを結集し、アドボカシーの優先事項から製品アイデア、発信するストーリーに至るまで、現場に基づく知見を共有する場です。これにより、私たちの取り組みが皆さまの実体験を反映したものとなるようにしています。年間を通じた会議を通じて、ボードは私たちが本当に重要なこと——すなわち医療を支えている人々を支援すること——に軸足を置き続けられるよう導いています。



NATALIE CRAWFORD, MD



KATIE DUKE, NP



SCOTT FUJIMOTO, DO



MAURICIO GONZALEZ, MD



SARAH J. KILPATRICK, MD, PHD



DANIELLE LEVECK, DNP,
ACNP, CCNS



PAMELA MEHTA, MD



NIVEDA PONMUDI, VMD



ELISABETH POTTER, MD



NACOLE RICCABONI, DNP,
MBA, APRN



DARIEN SUTTON-RAMSEY,
MD, MBA



DANIEL YADEGAR, MD

私たちに ついて

FIGSでは、多様なバックグラウンド、視点、業界経験、そして人生経験を持つ人材で構成されたチームづくりを意図的に行っています。この多様な声と才能が、私たちをより強い協働者にし、皆さま——私たちが支える素晴らしい人々のコミュニティ——にとってより良いパートナーであり続けることを可能にしています。

インクルージョン、帰属意識、およびデモグラフィック

FIGSで働くことに対して好意的に感じている社員の割合は

81%

であり、全国平均を12ポイント上回っています。

インクルージョン

FIGSでは、チームメンバーが尊重され、大切にされていると感じています。

90%

がFIGSで働く中で尊重されていると回答

90%

が上司が自身のウェルビーイングを心から気にかけていると回答

82%

がFIGSは多様性のあるチームを構築していると感じると回答

帰属意識

FIGSのチームは、帰属意識、目的意識、そして会社への誇りを感じています。

89%

がFIGSに所属していると感じていると回答

96%

がFIGSで働いていることに誇りを持っていると回答

92%

がFIGSの使命および価値観に共感していると感じると回答

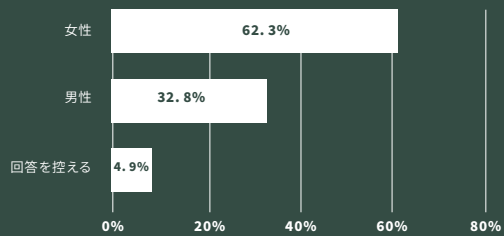
90%

がFIGSは自身が意義ある貢献をできる環境であると回答

OUR TEAM

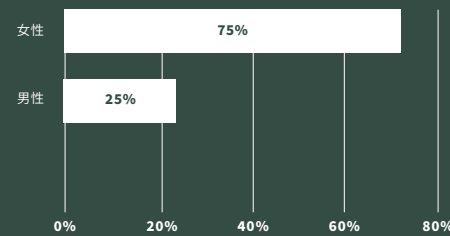
デモグラフィック（全体）

性自認

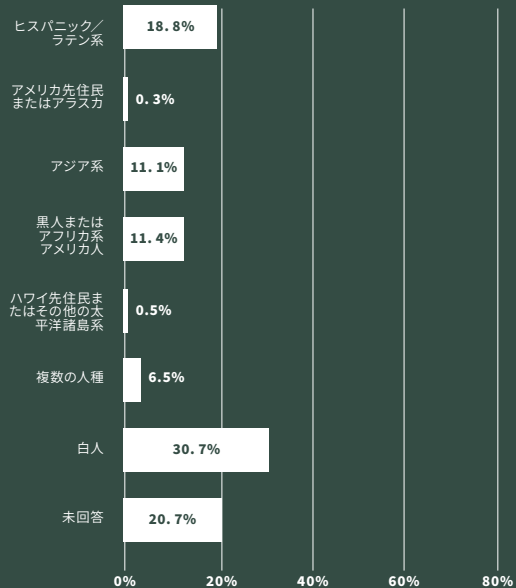


デモグラフィック（経営チーム）

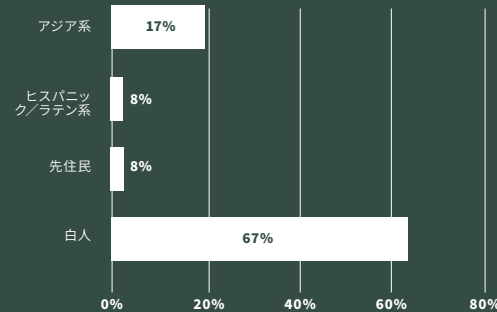
性自認



人種／民族



民族





チーム開発

私たちのチーム開発に対するアプローチは、「共に取り組むこと」を基盤としています。コラボレーションは単なる言葉ではなく、互いに支え合う姿勢や、異なる働き方を調和させるプロセス、そして一人ひとりの声、強み、視点が私たちの取り組みに反映される形で実践されています。

私たちは、それぞれが自身の強みを最大限に発揮できる環境を整え、チームが連携しながらより迅速かつ的確に前進できるようにしています。目標はシンプルです。すべての人が意見を聞かれ、認められ、力を発揮できると感じられることです。なぜなら、共に創り上げるものは、個々で成し得るものよりも強いものになるからです。



GWYNETH PALTROW | TRINA SPEAR, CO-FOUNDER AND CEO, FIGS

フィールドデー

毎年夏に、私たちはFIGSチーム全体が集まるフィールドデーを開催しています。これは一度立ち止まり、リフレッシュし、これからの方向性を共有するための機会です。

2025年は、基調講演者としてグウィネス・パルトロー氏を迎えてスタートしました。リーダーシップやブランド構築に関する洞察を共有し、私たちに対してインパクトの拡大、つながりの強化、そしてグローバルな成長の流れをさらに推進する重要性を示してくれました。私たちは何が最も重要であるかを再確認し、これまでの歩みを称え、使命とのつながりを再び強める時間を過ごしました。



つながりの深化

2025年に開始された「FIGS in the Field」は、チームをデスクの外へと導き、現場の重要な瞬間に直接関わる取り組みです。私たちは、皆さまが働き、生活する場所に足を運び、病院でのコーヒーカートの提供や、ロサンゼルス山火事のような重要な局面における地域支援を行いました。

さらに、カスタマーエクスペリエンスおよびコミュニティ・ハブでのシャドーシフト、ならびにスピーカーシリーズ「Fruitful Talks」を通じて、これらのつながりを一層深めました。その結果、医療コミュニティは自分たちが認識され支えられていると感じ、私たちのチームもまた、より深い理解とインスピレーションを得て、使命との結びつきを強めることができました。

製品

FIGSでは、製品やアイデアを可能な限り責任ある形で実現することを重要な優先事項としています。これは、持続可能な素材の活用、より効率的な製造プロセス、そして革新的な取り組みによって支えられています。また、すべての製品の背景にいる人々を尊重することも意味しています。私たちはパートナーに対して厳格な労働基準の遵守を求めており、児童労働および強制労働に対しては一切の妥協を許さない明確な姿勢をとっています。



FIGS DON'T SUCK. RECYCLE SCRUBS THAT DO.

地球にはより良いケアが必要であり、皆さまにはより良いスクラブがふさわしいと、私たちは考えています。「Scrubs That Don't Suck」は、使い古した着心地の良くないスクラブをリサイクルし、FIGSへとアップグレードすることを促すプログラムです。古いスクラブを1着リサイクルするごとに、感謝の意として次回のFIGS購入時に25ドルの割引が提供されます。

回収された素材は再利用され、スポーツ用機材の充填材、カーペットやフローリングの下地材、自動車用断熱材などとして新たな役割を担います。そして、多くの素晴らしい人々が、新しいFIGSによってより快適に、自信を持って日々を過ごせるようになります。

「Scrubs That Don't Suck」は、650,000kgのCO2排出量を埋立地から削減することに貢献しました。

リサイクル・イノベーション

私たちはFillogicと提携し、回収された損傷衣類に新たな価値を与える取り組みを行っています。これまで流通センターで廃棄されていたこれらの製品は、現在では繊維リサイクルへと回され、廃棄物の削減と資源の有効活用につながっています。損傷した製品であっても、有益な役割を果たすことができると考えています。

2025年の実績

294,000

人の素晴らしい人々が参加

435,000

着の不要なスクラブをリサイクル

250,000

ポンド以上を埋立地から削減

(前年の5倍)

製品のサステナビリティ

OEKO-TEX®認証

耐久性はサステナビリティの重要な要素です。一般的な衣類がわずか5～10回の洗濯での使用を想定して設計されているのに対し、FIGSのスクラブは少なくとも50回の洗濯および乾燥に耐えられるよう設計されています。さらに、リサイクル素材や環境に配慮した素材の使用と組み合わせることで、より長く使用でき、衣類廃棄を削減し、埋立地へ送られる量を抑えるスクラブを実現しています。まさに素晴らしい取り組みです。

OEKO-TEX® Standard 100は、衣類のすべての構成要素が厳格な安全基準を満たし、有害物質を含まないことを認証するものであり、消費者が安心して着用できることを保証します。

2025年には、当社のコアスクラブ製品の100%（全製品の43%を占める）がOEKO-TEX® Standard 100に適合しました。これは、2024年の42%、2023年の38%からの増加となります。この認証は、サプライチェーン全体において最高水準の品質、透明性、そして責任を維持することを可能にし、コミュニティと地球環境の双方を支える取り組みとなっています。

倫理的なサプライチェーン

すべてのTier I衣料品サプライヤーは、契約上、当社の倫理要件に従うことを義務付けられており、品質の高い製造、責任ある労働環境、そして配慮ある社会的・環境的取り組みにおいて整合性を確保しています。また、サプライヤーは当社のベンダーマニュアルの遵守も求められており、このマニュアルは国連の労働基準、各国の労働法、ならびに公正労働協会の基準を満たす、またはそれを上回る内容となっています。

さらに、すべてのTier Iサプライヤーは、Worldwide Responsible Accredited Production (WRAP) プログラム（または一部の場合においては同等の認証機関）による認証を維持することが義務付けられています。これは、安全で合法的かつ倫理的な製造を推進する独立した認証制度です。

Tier IサプライヤーがWRAP認証を維持する要件の一環として、WRAPの「12原則」への遵守を促進するための定期的な監査への対応が求められています。これらの原則は以下の通りです。

- (1) 法令および職場規則の遵守
- (2) 強制労働の禁止
- (3) 児童労働の禁止
- (4) ハラスメントおよび虐待の禁止
- (5) 報酬および福利厚生
- (6) 労働時間
- (7) 差別の禁止
- (8) 健康および安全
- (9) 結社の自由および団体交渉権
- (10) 環境
- (11) 関税関連法規の遵守
- (12) セキュリティ

WRAPは、これら12原則への完全な遵守が確認された施設に対してゴールド認証を付与し、さらに3回連続の認証監査において完全な遵守が確認された施設にはプラチナ認証を付与します。FIGSのTier I衣料品サプライヤーは、当社との取引を継続するためにゴールドまたはプラチナ認証の取得が必須とされており、倫理基準を満たさない場合には、当社は契約に基づき取引関係を終了する権利を有しています。

サプライチェーンの監査

私たちのチームは、サプライチェーン全体にわたり厳格な監査体制を維持しています。品質保証プロセスの一環として、FIGSのチームメンバーはすべてのTier Iサプライヤーを少なくとも月に2回訪問し、運用状況の確認、要件の再徹底、そして期待される品質水準が満たされているかの確認を行っています。

さらに、すべてのTier IサプライヤーはWRAP認証の維持が義務付けられており、これにはWRAPによる定期的な独立監査が含まれます。

また、それだけにとどまりません。ベンダーマニュアルに基づき、Tier Iサプライヤーは、自社のTier IIパートナーに対しても同等の基準を適用することが契約上求められており、サプライチェーンのあらゆる段階で説明責任を確保しています。

 FIGS

APPENDIX

FORWARD-LOOKING STATEMENTS

This report contains various forward-looking statements about FIGS, Inc. (the "Company") within the meaning of the Private Securities Litigation Reform Act of 1995, as amended, that are based on current management expectations, and which involve substantial risks and uncertainties that could cause actual results to differ materially from the results expressed in, or implied by, such forward-looking statements. All statements contained in this report that do not relate to matters of historical fact should be considered forward-looking. These forward-looking statements generally are identified by the words "anticipate", "believe", "contemplate", "continue", "could", "estimate", "expect", "forecast", "future", "intend", "may", "might", "opportunity", "outlook", "plan", "possible", "potential", "predict", "project", "should", "strategy", "strive", "target", "will" or "would", the negative of these words or other similar terms or expressions. The absence of these words does not mean that a statement is not forward-looking. These forward-looking statements address various matters, including future goals, commitments, programs, and initiatives, including those related to Environmental, Social, and Governance ("ESG") and sustainability matters, Community Hubs, and the Company's advocacy and impact efforts, as well as business performance and strategies, all of which reflect the Company's expectations based upon currently available information and data. Because such statements are based on expectations as to future financial and operating results and are not statements of fact, the Company's actual results, performance or achievements may differ materially from those expressed or implied by the forward-looking statements, and you are cautioned not to place undue reliance on these forward-looking statements. The following important factors and uncertainties, among others, could cause actual results, performance or achievements to differ materially from those described in these forward-looking statements: the Company's ability to maintain its historical growth; the Company's ability to maintain profitability; the Company's ability to maintain the value and reputation of its brand; the Company's ability to attract new customers, retain existing customers, and to maintain or increase sales to those customers; the success of the Company's marketing efforts; the Company's ability to maintain a strong community of engaged customers and Ambassadors; negative publicity related to the Company's marketing efforts or use of social media; the Company's ability to successfully develop and introduce new, innovative and updated products; the competitiveness of the market for healthcare apparel; the Company's ability to maintain its key employees; the Company's ability to attract and retain highly skilled team members; risks associated with expansion into, and conducting business in, international markets; changes in, or disruptions to, the Company's shipping arrangements; the successful operation of the Company's fulfillment operations; the Company's ability to accurately forecast customer demand, manage its inventory, and plan for future expenses; the impact of changes in consumer confidence, shopping behavior and consumer spending on demand for the Company's products; the impact of macroeconomic trends on the Company's operations; the Company's reliance on a limited number of third-

party suppliers; the impact of global trade policy on the Company's ability to source and distribute its products; the fluctuating costs of raw materials; the Company's ability to execute on its B2B growth strategy; the Company's ability to execute on its retail growth strategy; the Company's failure to protect proprietary, confidential or sensitive information or personal customer data or risks of cyberattacks; the Company's failure to protect its intellectual property rights; the fact that the operations of many of the Company's suppliers and vendors are subject to additional risks that are beyond its control; and other risks, uncertainties and factors discussed in the "Risk Factors" section of the Company's Annual Report on Form 10-K for the year ended December 31, 2025 filed with the Securities and Exchange Commission ("SEC") on February 26, 2026 (the "Annual Report"), and in the Company's other periodic filings with the SEC. The forward-looking statements in this report speak only as of the time made and the Company does not undertake to update or revise them to reflect future events or circumstances.

ESG

We may provide ESG, sustainability and other information in this report and in our filings with the SEC, including our Annual Report, that is not necessarily "material" under the federal securities laws for SEC reporting purposes, but that is informed by various ESG standards and frameworks (including standards for the measurement of underlying data) and the interest of various stakeholders. The "materiality" thresholds in those standards and guidelines may differ from the concept of "materiality" under the federal securities laws and disclosures required by the SEC rules. The inclusion of sustainability and ESG disclosures in this report does not necessarily mean or imply that we consider them to be material for purposes of the federal securities laws or the SEC's rules. Much of this information is also subject to assumptions, estimates or third-party information that is still evolving and subject to change. For example, our disclosures based on any standards may change due to revisions in framework requirements, availability of information, changes in our business or applicable government policies, or other factors, some of which may be beyond our control.